



1985—86年度  
地区委員会  
活動計画書

国際ロータリー第266地区

ガバナー 中西正二

1985年 7月 20日(土)

於：新阪急ホテル

## 「奉仕の理想」

作詞・元京都RC 前田源一郎

作曲・元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に 集いし友よ

御国に捧げん 我等の業い

望むは世界の 久遠の平和

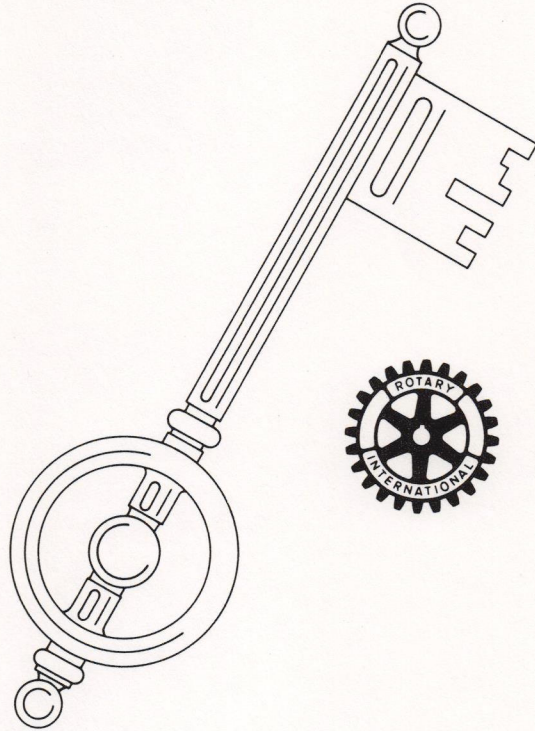
めぐる歯車 いや輝きて

永久に栄えよ 我等のロータリー

ロータリー



# あなたが 鍵 です



目

次

扉・目次

地区組織図表  
着席表

プログラム..... 5

合同地区委員会開催に当って

ガバナー 中西 正二..... 7

地区指名委員会..... 9

意義ある業績賞委員会..... 10

クラブ奉仕部門

会員増強委員会..... 11

広報・雑誌委員会..... 12

規定情報委員会..... 13

職業奉仕部門

職業奉仕委員会..... 15

社会奉仕部門

社会奉仕委員会..... 17

青少年奉仕部門

青少年活動委員会..... 20

ローターアクト委員会..... 22

インターアクト委員会..... 25

国際奉仕部門

世界社会奉仕委員会..... 27

青少年交換委員会..... 28

米山奨学委員会..... 32

国際交流委員会..... 34

ロータリー財団部門

財団増進委員会..... 35

財団奨学金委員会..... 36

研究グループ交換委員会..... 38

財団学友委員会..... 42

拡大部門

拡大委員会..... 44

地区財務委員会..... 46

地区大会..... 49













**国際ロータリー第266地区**  
**1985～86年度 合同地区委員会**  
**プ ロ グ ラ ム**

昭和60年7月20日(土) 10:30～  
 於：新阪急ホテル 2F 紫の間  
 進行・地区代表幹事 神崎 茂

- |             |  |                        |
|-------------|--|------------------------|
| 09:30       | 登録開始   |                        |
| 10:30       | 開会・点鐘  | ガバナー 中西 正二             |
|             | ロータリー・ソング「奉仕の理想」   |                        |
| 10:30～12:00 | 本会議  |                        |
|             | 就任挨拶・参加者紹介   | ガバナー 中西 正二             |
|             | 退任ご挨拶  | 直前ガバナー 中村 俊一           |
|             | 委員会本年度の方針と活動   | 各委員会 委員長               |
| 12:00～13:00 | 休憩・昼食  |                        |
| 13:00～14:30 | 本会議  |                        |
|             | 委員会本年度の方針と活動   | 各委員会 委員長               |
| 14:30～14:45 | 休憩   |                        |
| 14:45～15:55 | 委員会本年度の方針と活動<br>地区資金の運用について<br>その他 <small>地委大会について</small> | 各委員会 委員長<br>財務委員長 前島 淳 |
| 15:55       | 閉会の挨拶  | ガバナー 中西 正二             |
|             | ロータリー・ソング「手に手つないで」   |                        |
| 16:00       | 点鐘   | ガバナー 中西 正二             |





## 合同地区委員会開催に当って

ガバナー 中西正二

本年度地区各委員会の活動方針につきましては去る3月15日次期地区委員長の皆様にお集り頂き、国際ロータリーのテーマにそって私から次のようなお話をいたしました。

先ず地区組織の簡素化を図るため次の通り一部組織の変更を行いました。即ち広報委、雑誌委を広報・雑誌委に、社会奉仕委、環境資源委を社会奉仕委に、国際交流委、国際大会行委を国際交流委に、拡大カウンセラー、拡大委を拡大委（拡大カウンセラーを含む）に夫々統合いたしました。また地区資金委、地区会計を地区財務委（会計を含む）に改称統合いたしました。

地区委員会の職能には、各クラブ委員会活動の推進と地区レベルで行う活動の執行とがあります。前者が主たるものであります。

<会員増強> 綱領の第一に知り合いを広めることとあり、それに努力しなければなりません。数が増えても知り合いにならなければ意味がありません。具体的目標といたしましては、クラブ運営の点からも50人未満のクラブでは、出来るだけ早い時期に50人になるようにしてほしいと思います。

<広報> 世間がロータリーについて正しい認識を持っていないのは、広報不足からだけでは。今のロータリーのたたずまいから、誤った印象を与えている点があるのではないのでしょうか。具体的広報活動としては、取材提供の要領を更に各クラブに徹底したいものです。

<ロータリー情報> R.I.のテーマからしても最大の課題です。入会前に情報活動が確立しているかどうか。現会員に対しては、いつ、誰が、何を、何処で、どんなやり方で計画的に情報活動をすればよいのか、またそのフォロー・アップをどうするかについて、各クラブを充分ご指導願います。

<職業奉仕> 各クラブがこれを推進するために、どんな具体的な委員会活動をすればよいのか、そのモデル・ケースのようなものが案出出来ないのでしょうか。またケース・スタディのようなものが考えられないのでしょうか。



<社会奉仕> 地区レベルでの活動として、出来れば今年も恵まれない子供の一泊招待旅行を実施したいと思います。

<青少年> R.A.C. I.A.C.を新しく提唱して戴こうと云うクラブの発掘、援助もさることながら、むしろ重点として既存クラブの活性化に力を注ぎたい。RYLAもロータリーに關係のある人の参加をもっと増やしたいものです。

<世界社会奉仕> 単に金銭だけと云うのは出来るだけ避けたい。その点守口R.C.の活動は高く評価されるべきで、その輪を拡げて地区レベルまで持って行きたい。

<青少年交換> ロータリアンの子弟が参加出来る唯一の機会である。願わくば100%子弟で埋めたい。

<ロータリー財団及び米山> 寄付額は従来の実績をおとしたくありませんのでよろしくお願ひ申し上げます。財団奨学金は新しく職業研修、障害者教師、ジャーナリズム、発展途上国に対する大学教師のための奨学金も<sup>又は補助金</sup>受領出来るように努めたい。

<国際交流> 国際大会行については推奨旅行計画が出来れば参加者にとって便利であろうと思います。

<G.S.E.> 候補者については充分広報して、もっと多くの推薦を期待しています。

<拡大> 2或いは3クラブ結成出来ればと思っています。

以上に基づき、その後各委員会毎に会議を重ねられ、本年度の活動計画書を策定して戴き、合同地区委員会におきまして発表されました。

各クラブにおかれましては、その計画内容をよくご理解戴き、地区活動にご協力下さいますようお願い申し上げます。

～MEMO～



## 地区指名委員会

委員長	中村俊一(東大阪)	委員	菅生謙三(大阪北)
委員	伊藤恭一(大阪)	同	伊瀬芳吉(池田)
同	原田秀雄(大阪北)	同	種田憲次(大阪住吉)
同	田宮佐(高槻)	同	戸田孝(八尾)
同	峯村英薫(大阪東)	同	世戸一夫(大阪難波)
同	平井常次郎(大阪南)		

- (1) 1987～88年度の地区ガバナー・ノミネーの候補を出来るだけ早く選出したい。
- (2) 7月に委員会を開催し、各委員の意見を承り、検討を開始していただく。
- (3) 8月中に委員会を開き、候補者の推薦を行う。
- (4) 10月末までにガバナー・ノミネー候補を決定したい。
- (5) ガバナー月信№6(11月号)で公示したい。
- (6) 他に候補者があれば、12月25日までに申し出ていただくことにする。
- (7) 申し出がなければ、ガバナー月信№8(1月号)にて、ガバナー・ノミネーとして宣言することになる。

- 第1回開催 7月6日
- 第2回開催 8月上旬を予定

～MEMO～



## 意義ある業績賞委員会

委員長 中村 俊一（東大阪）

委員 戸田 孝（八尾）

同 世戸 一夫（大阪難波）

- (1) ガバナー月信№3（8月号）で、選定基準と委員会に関する発表を行う。
- (2) 申請クラブよりの申請期限は10月末日とする。  
（申請手続は「手続要覧」39 - 40 頁参照）
- (3) 選考委員会を11月に開催し、12月1日までに受賞候補クラブをガバナーに申達する。
- (4) 各クラブへは「意義深い奉仕」に関して積極的に申請するよう呼びかけたい。

- 委員会開催は11月上旬を予定。

～MEMO～



## クラブ奉仕部門

担当パスト・ガバナー 中村 俊一 (東大阪)

### 会員増強委員会

4307名

(465名純増)

委員長 田中光雄(八尾)

委員 岡部次郎(箕面)

同 増本 猛(茨木東)

同 嶋中完治(枚方-くずは)

同 小松英二(大阪北)

50名以下 14クラブあり

3クラブ 90名 295名の内7名入に5と50  
から30%、従来と数字は逆転

#### I. 方針

前々年度はR.I.会長の会員増強へのチャレンジというテーマで、特別プログラムが生まれ、又前年度も引続き重点目標に会員増強が掲げられ、具体的な数字が示されました。当地区は特に積極的な取組みで、全国でも優秀なる成績を挙げ得ました。この実績を踏まえて今年度も会員増強(純増)に密度の高い活動計画を練り、目的を達成するため努力いたします。

#### II. 活動方針

- (1) 7月3日に開催される会員増強東京セミナーに参加し、これに基づいて各ロータリー・クラブにアンケートをお願いして、会員増強委員長会議を開き協力をお願いする。
- (2) 各ロータリー・クラブの実状に応じた増強活動をお願いすることにし、特に会員数50名以下のクラブについては積極的に増強をお願いする。地区委員会はこの具体策を検討する。
- (3) 知り合いを一人でも多く入会して戴くよう推進すると共に、退会者の防止に努力する。(退会防止の方法の一つとして入会前のインフォメーションを充分に行い、情報を提供するように各クラブの情報委員長をお願いする)

- (4) 充填および未充填職業分類表に基づいて増強計画を立てるようお願いする。
- (5) 拡大による会員増強の実績が大きいので、拡大委員会（拡大カウンセラー）と連絡を密にして総合的会員増強を計る。

## 広 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長	船 田 芳 一（大 阪）
広報委員	高 木 一 見（大阪南）
同	中 村 覚（大阪北）
雑誌委員	安 竹 一 郎（大阪西）
同	柴 田 俊 治（大阪西）

### 広 報

#### I. 活 動 方 針

先般のクラブ会長エレクトに対するアンケートの結果によると、「ロータリーに就いての社会一般の認識は極めて低い」ということであり、まことに残念である。報道機関がロータリーの報道に積極的でないのに、ロータリーの活動にたいして読者、視聴者の関心が無いことが理由の一つになっているのであろうが、また逆に、報道機関の協力が十分に得られない為に、社会一般の正しい認識が生まれないということも事実である。こういった実状を踏まえて、各クラブの広報委員長との連携を密にしてニュース・バリューのある広報材料を積極的に報道機関に提供し、協力を求めている。

#### II. 活 動 計 画

- (1) 8月26日に在阪主要新聞、通信、放送の各社の担当記者とガバナーとの懇談会を開催する。
- (2) 「ロータリーの友」その他一般的な資料をガバナー事務所から定期的に各報道機関に送付し、基本的な認識を持ってもらい、関心を高めてもらう材料とする。



(3) 地区全体にニュースや広報資料は地区広報・雑誌委員会が報道機関に送付し、取材の要請を要する。

各クラブに関するものは夫々のクラブから、ロータリー担当記者、または新聞社の各地区通信部などへ直接連絡してもらうこととする。

(4) 9月4日に地区広報委員長会議を、薬業年金会館に於いて開催し、成果のあがる広報のありかたについて意見交換を行いたい。

## 雑 誌

### I. 活 動 方 針

前年度の委員会の活動を引き継ぎ、「ロータリーの友」を総てのロータリー会員に読んでもらい、「友」が愛され親しまれる雑誌となることを第一の目標とし、又「友」が会員相互の楽しい情報交換の場となるように、地区の各クラブからの寄稿を推奨することに努めたい。

### II. 活 動 計 画

(1) 9月24日に地区雑誌委員長会議を開催し、活動方針を実行するための話し合いを行い、相互の経験と実績を交換しあうこととする。

(2) 4月のロータリー雑誌月間を通じて「ロータリーの友」にたいする関心を高めるPR活動を実施する。

## 規 定 情 報 委 員 会

委員長 中 筋 一 朗(大阪西)

同 林 董(豊 中)

同 吉 野 昭 夫(大阪駅)

同 小 浜 雅 之(大阪東)

### I. ロータリー情報の普及徹底に関する活動



地区委員会としては、地区内各クラブがなるべく同じようなレベルで、会員候補者、新入会員、会員にそれぞれ適切なロータリー情報を提供することができるよう、各クラブ相互間の情報、意見、資料等を交換する場を与え、且つ、その成果を報告し合う機会を持つこととしたい。そしてそれらを通じ、適切なロータリー情報というものがロータリーの質の維持、向上にとって必要不可欠であり、会員拡大と共に活性化の源泉であるという意識を持つようにつとめたい。

上記の趣旨を徹底するために、本年8月10日(土)の午後、葉業年金会館に於て、クラブロータリー情報委員長会議を開催する。

又、明年適当な時期を選び、再びクラブロータリー情報委員長会議を開催する予定である。

## II. 諸規定の正確な理解のための活動

ロータリーの諸規定を正確に理解することにより、相当部分のロータリー情報を得ることが可能となるが、地区委員会としては、ともすればかたくなになり勝な諸規定を身近なものとする解説を提供し、地区内のクラブで細則等等の整備などについて適切な助言をする。特に1985～86年度にあっては、1986年2月のシカゴの規定審議会にむけて、各クラブの意見を集約する必要があるので、この機会を通じて規定の趣旨、意義の理解を深める活動をしたい。

規定審議会に提出された改正案を検討するための説明会として、本年10月5日(土)の午後、YMCA会館に於て、クラブ規定委員長(規定担当者)会議を開催する。

更に今回から規定審議会で採択された改正規定、決議の施行が従来と異なり1986年7月1日からとなったので、それ等の解説を当地区年次大会に於ける会長幹事懇談会(1986年4月11日)の席で実施する。



## 職業奉仕部門

担当パスト・ガバナー 世戸 一夫 (大阪難波)

## 職業奉仕委員会

委員長	大西	淳 (大阪平野)
委員	中島	誠 (池田)
同	常持	敦 (寝屋川)
同	村生	悦三 (大阪難波)
同	津田	幸治 (東大阪)

本年度エドワードF.ガドマンR.I. 会長が掲げられたテーマ「あなたが鍵です」はロータリーの奉仕活動は一業一人の職業分類によって選ばれたロータリアン一人一人が、自らの職業を通じ個人の立場で奉仕活動を行い、思いやりと助け合いを実践して職業の道徳的水準を高め、ロータリーの理想を社会に推進してゆく使命を、ロータリー綱領の再確認と共に全ロータリアンに示されたものと思います。委員会やクラブはその激励、援助、助言をするにすぎません。従って本年度、各ロータリアン及びクラブ委員会に推進していただきたい幾つかの具体的活動のモデルケースをここにお知らせいたします。

- (1) 「私の職業奉仕」など具体的な事例集を作成されては如何ですか。お互いよく知り合ったもの同士の日常的な職業事例を披露し合うことによって親睦と理解を深め、フォーラムでのケース・スタディとして職業奉仕の認識向上にも役立つものと推奨いたします。尚本計画につきましては、地区委員会におきましても、「第266地区職業奉仕事例集」を編集する計画でありますので、論説、所信に関するものは避け、日常の具体的職業事例に絞り、又解答を導き出すには困難な事例についても、みんなに問いかけるという形式でよろしいかと思えます。是非ご協力いただくようお願いいたします。
- (2) 急速な国際化、ハイテクノロジーの時代に対処し、職業分類上関連あるグループ別に「職業奉仕未来への挑戦」というようなフォーラムやファイアサイド・ミーティングを



開催されることを是非お奨めいたします。

- (3) 青少年委員会とも密接な連絡をとり、青少年層に対する情報活動を考慮して下さい。  
例えば職業奉仕についてのフォーラムをロータリアンとローターアクト、インターアクト及び同年層の青少年と合同で開催、併せて職業情報を含めたものにするのも効果的。  
学校図書館に職業参考書棚を提供したり、学校と連絡をとってパート、休暇中のアルバイトなど青少年に業務の運び方を看取できる効果的な機会を提供したりする。
- (4) 「特別なはたらき手」と呼ばれるハンディをもつ人たちへの技能訓練。生計をたてたり、家族を養うにも特別困難な恵まれない人たちや、在日外国人に対する就職援助。定年退職者や年取った人たちにおける経験や技能の活用。などの「職業指導」は援助を必要とする人たちにとって、すばらしい思いやりと助けあいの活動になりましょう。
- (5) クラブ委員会としては「ロータリアン必携」の効果的な活用を考慮して下さい。「職業奉仕自問自答」の自己採点も計画し反省の材料にして下さい。雇主-従業員デーを設けるとか、職業奉仕賞を贈呈するとか、又会員の事業所の社是、社訓を編集することも、つまるところロータリーの精神に通じるものがある筈であります。
- (6) 「四つのテスト」の尙一層の浸透。そして更に家庭、職場に、地域社会に、又青少年にもその輪を拡げていただきたい。
- (7) そして何よりも肝要なることは、ロータリー綱領の再認識であります。即ち職業の世界において綱領の推進こそが職業奉仕の目的に適うものであることの理解と徹底を是非お願い申します。

〔職業奉仕参考資料〕

R. I. 出版物（日本語版）申込先 日本支局

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 50-J   | 奉仕こそわがつとめ          |
| 57-J   | 事例と取り組みましょう        |
| 501-J  | 職業奉仕でわれわれは何をなしうるか？ |
| 502-J  | 四つのテストの適用          |
| 554-J  | 青少年のための職業情報        |
| 555-J  | ロータリー国際職業人交換       |
| 573-J  | 職業分類談話の準備          |
| 5415-J | 四つのテスト ポケット版       |



## 社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー 菅生 謙三(大阪北)

## 社会奉仕委員会

委員長	永野 啓之助(豊中-大阪国際空港)
委員	浜田 実男(高槻東)
同	寶田 重幸(大阪梅田)
同	寺井 種伯(大阪天満橋)
同	西田 三郎(大阪北)
同	常盤 泰弘(守口)
同	中谷 庄八(大阪西)

I. 各クラブの社会奉仕委員会の基本的任務は、社会奉仕に関するロータリーの方針(決議 23-34)に従い、ロータリアンが個人として綱領の第3を実践し自己を啓発するに役立つような方策を立案実施することであることを認識させその徹底をはかる。

II. クラブ社会奉仕委員会の上記任務に関連しての基本問題として、

- (1) クラブ会員に個人として行う奉仕活動に役立つ指導と援助を与える方策。
- (2) クラブとして行う奉仕活動にクラブ会員の一致した協力を求める方策。
- (3) クラブが近隣クラブ又は親子クラブ乃至区域限界を共有する所謂2階建、3階建クラブと共同で行う奉仕活動計画について。
- (4) 行政機関その他の組織との共同事業計画について。
- (5) クラブの区域限界を越えての奉仕活動について。
- (6) 単年度事業と継続年度事業について。
- (7) 居住地会員の少ない所謂都市型クラブ及び老令会員の多い所謂伝統クラブの各奉仕活動について。

(8) インターアクト、ローターアクトクラブ会員との協同活動計画について。

以上8点を討論議題として、去る3月18日の地区内クラブ社会奉仕委員長会議と、去る5月18日の地区協議会に於ける社奉仕部門において、再度に亘り討論検討を重ね大方の認識の徹底をはかったので、各クラブ社会奉仕委員会がいかにかその任務を自覚し、どのような活動計画を立案実施しようとしているか又は既に実施したか或は立案実施に当たっていかなる問題点があったか等について、年度後半に入った早い時期にアンケートを実施し、地区委員会の業績を検証し度い。

### Ⅲ. 地区推奨の社会奉仕

- (1) ボランティア団体の調査、発掘、支援についてクラブの協力。地区内に1乃至2個所のボランティアビューローを設置したい。
- (2) 身障児、恵まれない子供に対する白浜ホテル川久の好意に応じて招待旅行を本年度も継続実施することについてのクラブの賛同。
- (3) 松の緑を守る運動も21世紀計画の緑化環境問題の一環として、引続き推奨する。
- (4) 自殺防止センター並びに、関西いのちの電話両ボランティア活動への支援を引続き推奨する。

### Ⅳ. クラブ社会奉仕活動の予算の再検討を求め度い。

- (1) 1984-'85年度地区内クラブ社会奉仕委員会の予算一覧表によれば、一人当たり平均8,000円見当に過ぎず、しかも半数以上のクラブがこの平均値を大きく下廻っている。
- (2) 国際奉仕部門(ロータリー財団を含む)では、1人当たり38,000円以上の分担をしているのに対比し、社会奉仕部門の前掲8,000円は余りにも僅少過ぎるので本年度予算編成に当たって再考を煩わし度い。

国際奉仕部門1人当たり分担内容	財団	$70^{\$} \times 258^{\text{円}} = 18,050^{\text{円}}$
	米山	15,000
	WCS	3,000
	学生交換フェンド	2,000
	計	38,050円



(3) 社会奉仕活動は財源即ち予算によってその選択立案実施を左右されるものではなく、地域社会に密着した真に必要な奉仕活動であれば、これに見合う財源は何とか才覚して調達準備すべきである。

ニコニコ箱の収入をその喜捨提供者の真の意向に従って、社会奉仕活動資金として活用すべく予定して予算に組入れ、万一不足の場合は会員に臨時拠出を求めるのも一策と思う。

V. 前記アンケートの結果を集約検討し、これを資料の一つとして、本年も後半早期に、次年度クラブ社会奉仕委員長のための検討会合を開くことが望ましい。

～MEMO～

## 青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 種田 憲次 (大阪住吉)  
アドバイザー 津江 孝夫 (大阪南)

## 青少年活動委員会

委員長 白井 治義 (大阪西北)  
委員 吉田 弘 (枚方)  
同 阪口 久二男 (大阪淀川)  
同 坂上 節哉 (八尾)  
同 村上 白士 (大阪城北)  
同 大山 昭夫 (大阪城南)

### I. 活動計画

#### ● 青少年委員長会議

例年ABブロック別に委員長会議を開催して来たが、本年度より一括して前年度の6月19日に開催した。(9月にライラ実施のため)

#### 議題：

各クラブの青少年に対する事業計画の情報交換と、インターアクト、ローターアクトクラブ設立の有無、並びに今後の予定又その隘路の話し合い、ライラの実施予定とその取り組み方について協議したが、特に今回は前年度の淀川、枚方各RCのホストによるライラが大成功裡に終わったためこの経験を生かし、より多くの青年を参加させるには如何にすればよいかを議題として取り上げた。



月日・場所 ホスト	組	参加クラブ	クラブ数
6月19日 薬業年金会館 地区委員会	A	大阪、大阪阿倍野、大阪駅、大阪阪南、大阪東、大阪東淀、大阪平野、大阪城南、大阪城東、大阪北、大阪南、大阪港、大阪難波、大阪なにわ、大阪南西、大阪西、大阪大手前、大阪大淀、大阪西北、大阪西南、大阪心斎橋、大阪城北、大阪住之江、大阪住吉、大阪天満橋、大阪梅田、大阪うつぼ、大阪淀川、大阪鶴見、大阪北淀	30
	B	大東、東大阪、東大阪東、東大阪中、枚方、枚方くずは、茨木、茨木東、池田、池田くれは、門真、箕面、箕面中央、守口、寝屋川、大阪柏原、千里、摂津、四條畷、吹田、吹田西、高槻、高槻東、豊中、豊中-大阪国際空港、豊中南、八尾、八尾東、八尾中、東大阪西、交野	31

## II. ライラ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

### (1) 目的

18才から28才迄の青少年を毎回50名程度集めてロータリーの精神を理解させ、良き青少年の指導者としての資質を伸ばし、地域での奉仕活動を助長さすように訓練し、ローターアクトクラブを理解させ且つアクト会員になるよう勧奨する。

### (2) 開催日

昭和60年4月27日～29日

昭和60年9月21日～23日 能勢

昭和61年5月2日～4日 青少年海洋センター

### (3) 開催場所

9月は大阪府総合青少年野外活動センターにて、5月は大阪府立青少年海洋センターにて初級中級セミナーを計2回実施する。

## ローターアクト委員会

委員長	飯原弘章(大阪住吉)
委員	目幸等僊(大阪天満橋)
同	中西滉(大阪東)
同	森肇(大阪西南)
同	山崎訓(池田)
同	中村憲次(茨木)

I. 当委員会の活動の基本目的は、地区内ローターアクトクラブの指導・育成・強化及び新クラブ提唱の際の援助・協力にある。

当ローターアクト地区は、大阪北ゾーン6クラブ・大阪ゾーン10クラブの16クラブにより構成され、また6名のローターアクト地区役員会を設けている。(別表参照)

本年度も過去の良き伝統と慣行に従って活動計画をたて、これらのプログラムを消化することについては、提唱16ロータリークラブのローターアクト委員会との連絡を密にして地区内ローターアクトクラブを指導・援助したい。

本年度もローターアクトクラブの拡大については努力をするが、それにも増して、在来ローターアクトクラブの奉仕活動の活性化をはかり、本年度RI会長のテーマ「あなたが鍵です」をローターアクトにも徹底させたい。

尚、本年度地区ローターアクトのターゲットを「Renew the Spirit of Rotaract!」(ローターアクトの精神をまた新たに)とし、これを促進したい。

## II. 地区内ローターアクトクラブ一覧表

### ◎北大阪ゾーン

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 池田 R A C | 4. 寝屋川 R A C |
| 2. 茨木 R A C | 5. 高槻 R A C  |
| 3. 守口 R A C | 6. 枚方 R A C  |



◎大阪ゾーン

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 7. 大阪 R A C   | 12. 大阪西南 R A C  |
| 8. 大阪東 R A C  | 13. 大阪天満橋 R A C |
| 9. 大阪西 R A C  | 14. 大阪住吉 R A C  |
| 10. 大阪南 R A C | 15. 八尾東 R A C   |
| 11. 大阪北 R A C | 16. 東大阪 R A C   |

III. 地区ローターアクト役員

役職名	所属クラブ	氏名
代表	大阪西南 R A C	前田和生
幹事	守口 R A C	柳田靖
北大阪ゾーン代	茨木 R A C	大西英樹
大阪ゾーン代	大阪天満橋 R A C	島村彰人
会計	高槻 R A C	西村美香
副幹事	大阪南 R A C	酒井康子



Ⅳ. 1985～86年度 年間行事予定

1985.6.1

開催日				行 事	主催・ホスト
85年	7月	7日	(日)	地区合同連絡協議会及び第1回リーダーシップ・フォーラム	守 口 R A C
	"	12日	(金)	提唱ロータリークラブ・ローターアクト正副委員長会議	地 区
	"	21日	(日)	海外研修オリエンテーション(第3回) (第1回:6月2日 第2回:6月30日に実施済み)	地 区
	8月	2日	(金)	海外研修	地 区
	～	8日	(木)	"	
	9月	8日	(日)	全国統一RACの日	地区(大阪住吉RAC)
	10月	6日	(日)	大阪ゾーン ソフトボール大会	大 阪 西 R A C
	"	27日	(日)	海外研修解団式	地 区
	11月	10日	(日)	大阪ゾーン 連絡協議会	大阪天満橋 R A C
	"	17日	(日)	北大阪ゾーン 連絡協議会	茨 木 R A C
	12月	15日	(日)	大阪・北大阪合同 ジョイントパーティ	東 大 阪 R A C
86年	1月	17日	(金)	第2回提唱ロータリー・ローターアクト正副委員長会議	地 区
	"	19日	(日)	第2回リーダーシップ・フォーラム	大 阪 東 R A C
	2月				
	3月	2日	(日)	新人オリエンテーション	池 田 R A C
	"		(日)	北大阪ゾーン スキーツアー	守 口 R A C
	4月	6日	(日)	大阪ゾーン スポーツ大会	大 阪 南 R A C
	"	20日	(日)	新旧会長幹事会	高 槻 R A C
	5月	11日	(日)	年次大会	大 阪 西 南 R A C
	6月	7日	(土)	地区新旧会長会	地 区
	"	8日	(日)	北大阪ゾーン スポーツ大会	寝 屋 川 R A C

※ 随 時 …… 地区ローターアクト委員会 ※ 毎月1～2回……地区ローターアクト役員会



## インターアクト委員会

6757

147-177

委員長	仲野欣弥	(大阪阪南)
委員	一ノ瀬博	(大阪住吉)
同	平岡英信	(大阪南)
同	阿倍晴彦	(大阪)
同	宮崎啓吾	(大東)
同	畑田豊	(大阪城南)

- 当R I第266地区のI.A.C.は古くは創立17年目を迎え、又10年目のクラブがある反面、まだ創立2年足らずの日の浅いクラブを含め、6クラブがある。
- 他の地区に比較してクラブの数に於いては低調かも知れないが、少数なるが故にクラブ間の連携、友好、共同で行う奉仕活動等については、まとまりが良く、親密なる間柄である。
- 然しながらせめて更に2~3クラブの増加は望ましいが、大都会の学校の特色として大学への進学の過当競争或いは学校側の協力理解等種々の隘路があり、私立の学校に於いては学校と何らかの関わりのあるロータリー・クラブからの熱意ある説得と、要請によってクラブの新設を期待出来るものと思われる。
- I.A.C.の新設増加も結構であるが、それにもまして、既設のクラブの活性化とクラブ員の増加への努力も重要な課題である。
- I.A.C.の発展と活性化は一に、学校の顧問教師のクラブ員に対する熱意ある指導と努力に懸っている。
- 依って提唱R.C.のI.A.委員の不断の指導と助言によって、R.C.がI.A.C.にかける期待と理想を十分に顧問の先生との意志の疎通によって先生を激励すべきである。
- I.A.C.設立の本来の趣旨を十分に理解した顧問の先生の指導によって、クラブ員の資質を伸ばし、活発な奉仕活動に意欲と喜びを見出すクラブ員の育成が出来、それが又クラブ会員以外の他の青少年にも波及的効果を発揮してこそ、I.A.C.設立の本来の意義があるものとする。
- 今年度地区の行事としては8月18日から22日迄の台湾への海外研修旅行を実施し、

台北現地の青少年との交流に約一日十分な時間をかけ、将来国際人として活躍するであろう若者の国際的な理解と親善の基礎的経験をさせ、有意義な研修旅行とすべく準備を進めている。 *ヶが等の神僕と廻りて、衆請給焉と同意*

- 11月23日に、今年度はRI.第264地区との合同でI.A.年次大会を実施し、他地区のアクター達との交流によって、多数の他クラブの活動の実態を知り、互いの啓発になればと考えている。
- 外に地区全体の行事としてリーダーシップ・フォーラムを年4回、新入会員歓迎会、海外研修旅行のオリエンテーション、海外研修の反省会、各R.C.のI.A.委員長と地区委員の懇談会、地区委員と顧問との会合等適宜開催する予定である。
- 地区全体としての活動以外は平素は各I.A.C.の特色と自主性によって、夫々のクラブの独自の活動を提唱R.C.委員と顧問の先生のよき指導により、アクター達の自主的な提案を引き出して、活発な活動をされるよう要請し注目して行きたいと考えている。

~MEMO~

*ロ-タ、イ-ダ - 27クラブ全口の内には中規程  
6*

*福岡 270地区 23(イ-ダ-アト)*



## 国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー 伊瀬 芳吉(池田)

### 世界社会奉仕委員会

委員長 増田 鼎(八尾)

委員 嘉井 晴夫(守口)

同 土屋 正(大阪難波)

同 坂東 宏(吹田)

本ロータリー年度の運営については、中西ガバナーのかねてよりのご指導に基づき、すでに前年度中、早々に、以下の方針および計画を立案して、その諸準備に着手しており、今後はその実践活動の推進に鋭意努力したい。

#### I. 方針

- (1) 守口RCが5年前より継続実施されてきたフィリピン国ネグロス島への海外医療奉仕チームの派遣を、地区レベルで継承拡充してできる限り大型チームの編成を目指す。これは地区レベル実施に賛同表明RCの協力を得て実施するもので、クラブレベル単独実施のプロジェクトを排除するものではない。
- (2) 各RCが海外の姉妹関係その他の提携相手先RCとの協力によるクラブレベルのプロジェクト推進は勿論望ましく、今後とも本レベルでのプロジェクトの発展並びに拡大を期待したい。
- (3) 国際奉仕部門傘下の他の委員会より協力要請があれば、その都度、前向きに検討したい。
- (4) RIのW.C.S. プロジェクト交換リストに新規登録分中、当委員会にふさわしいプロジェクトがあれば、慎重に検討協議の上、採り上げたい。

## II. 計 画

- (1) フィリピン国ネグロス島への医療奉仕の派遣プロジェクトについては、前ロータリー年度中、4月27日にクラブ委員長会議を開催して、その概要を伝達（ガバナー月信5月号に掲載）したが、更に6月8日に参加予定または希望者への説明会を持ち、その主旨の徹底を期した。今後とも随時打合せを継続して、チーム編成をなるべく早く完結したい。 現在 29名
- (2) 上記クラブ委員長会議において、アンケートを配布して実施方法（クラブ単独か地区レベルか）、予算額および一人当りの負担額の3点について各RCの回答を求めた。
- (3) 上記医療奉仕派遣プロジェクトの規模が現時点では不明のため、RI登録プロジェクトを含むその他のプロジェクトの推進は、医療奉仕プロジェクトが煮つまる過程において具体化していきたい。
- (4) 前年度は飢えるアフリカ救済への緊急援助や、フィリピン台風被災者への衣類供出キャンペーンなど、突発的援助を積極的に実施したが、南北格差の拡がり在今后とも予想される現在、予想外の事態に際しては、その都度有機的な対応策を講じたい。

## 青少年交換委員会

委員長	橋本 憲之(大阪南)
委員	入江 和夫(高槻)
同	鈴木 基弘(吹田西)
同	坂本 旭(大阪東淀)
同	阪本 義樹(東大阪)
同	恵美奈 博光(大阪なにわ)
同	中西 清雄(摂津)

### I. 青少年交換計画と交換ファンド

- 今年度(1985年～86年度)は長期派遣中の学生8名(うち4名8月帰国)、8月出



発 2 名と新たに第 510 地区 (米・オレゴン) より 3 月受入れの交換申入れがあり、3 月  
出発 5 名の派遣を予定する。また第 454 地区 (ブラジル) については公示の反応によ  
り今後の交渉に入る。

他方前年度よりの受入学生 7 名は 7 月上旬帰国し、新たに受入予定の長期学生は 6  
名となり、短期は 3 名の交換が予定されている。

- 交換学生についてはロータリアン子弟が参加できるプログラムであり、ロータリア  
ンの奉仕による多大の援助により成立する点からも、ロータリアン子弟の参加を積極  
的に求めたい。
- 引き続き交換ファンドのため地区全会員より年間 2,000 円の拠出を求め、交換計画  
実施諸経費および交換学生ホストクラブおよび交換学生に対し援助する。(長期交換  
学生年額 100 万円および短期学生関係諸費)
- レックス (交換学生 OB・OG 会) は順次充実していくよう助け、また来日および派遣  
交換学生のオリエンテーションなどには各自の体験より具体的な奉仕を求めたい。
- 毎年度、新たに青少年交換に参加するクラブを見出し、4~5 年に一度は各クラブ  
が青少年交換を実施されるよう求めたい。またクラブ単位の青少年交換についても情  
報を集め、できる限りの援助をしたい。

## II. 交換学生の状況

### (1) 受入れ学生

[長期]

- 1985 年 8 月 22 日来日予定

1) Eric Wayne Titley (男) 17 才      ホスト: 八尾中 RC

スポンサー    The RC of Beeton, Ontario D 707 (カナダ)

2) Nicholas Paul Kovac (男) 17 才      ホスト: 大阪西南 RC

スポンサー    The RC of Toront, Ontario D 707 (カナダ)

3) Michela Marie Gibbard (女) 15 才      ホスト: 大阪淀川 RC

スポンサー    The RC of East Jardan, Michigan D 629 (米国)

4) Steve W. McCurdy (男) 17 才      ホスト: 吹田西 RC



スポンサー The RC of Pocatello, Idaho D 510 (米国)

5) Samuel Mesker Woelm (男) 18才 ホスト：枚方 - くずは RC

スポンサー The RC of Minneapolis, Minnesota D 595 (米国)

6) Margaret Arlene Huschle (女) 16才 ホスト：東大阪 RC

スポンサー The RC of Stillwater, Minnesota D 596 (米国)

[短期]

• 1985年7月来日予定

1) Patti A. McNari (女) 15才 ホスト：八尾東 RC

スポンサー The RC of Overlake, Washington D 503 (米国)

(2) 派遣学生

[長期]

• 1985年8月3日帰国予定

1) 泉 潔 (男) 18才 スポンサー：豊中 - 大阪国際空港 RC

ホストクラブ The RC of Galasburg, Illinois D 646 (米国)

通 学 校 Galesburg High School

2) 加藤 徳子 (女) 18才 スポンサー：大阪阪南 RC

ホストクラブ The RC of Metropolis, Illinois D 651 (米国)

通 学 校 MassacCountry High School

3) 小林 あい子 (女) 17才 スポンサー：大阪大淀 RC

ホストクラブ The RC of Islip, New York D 726 (米国)

通 学 校 Islip High School

4) 青木 香澄 (女) 18才 スポンサー：吹田西 RC

ホストクラブ The RC of Borene, Texas D 584 (米国)

通 学 校 Borene High School

• 1985年3月24日出発 (1986年3月8日帰国予定)

5) 岩本 緑 (女) 16才 スポンサー：八尾中 RC

ホストクラブ The RC of Woodbridge, Ontario D 707 (カナダ)

通 学 校 Woodbridge High School





- 交換学生歓送・迎会、交歓パーティーなどの開催
- ホストクラブ・ホストファミリーのオリエンテーション開催  
ホストクラブカウンセラーとホスト家庭の集い開催
- レックス・ミーティングの援助協力
- 交換学生受入・派遣見送り、出迎え
- 国内・国外の交換学生派遣・受入れに関する接渉
- その他

## 米 山 奨 学 委 員 会

委員長	木 梨 正 夫(東大阪中)
委員	武 尾 敬之助(大阪西北)
同	塩 川 二 朗(千 里)
同	大 野 真 義(高 槻)
同	岡 本 惠 年(大阪西南)
同	中 島 誠(池 田)

15,000円/人を超えているのは全口約に4つしか5つしか  
4272名とあり

### I. 募 金 目 標

当地区の前年度寄付実績は、普通寄付1,700万円、特別寄付5,300万円、合計7,000万円前後と想定され、会員1人当たり1万5千円の地区目標は達成せられている。本年度目標額は、前年度並の1人当たり1万5千円、地区総額6,500万円程度としたい。

#### (1) 普通寄付

前年度普通寄付は、クラブにより1人当たり1,000円～8,000円であり、地区内クラブの約75%は4,000円を超えている。それ以下のクラブに対しては、なるべく早い機会に増額方をクラブ会長にお願いしたい。

#### (2) 特別寄付

米山功労者及び準功労者の申込を積極的に勧める。又クラブ委員長にお願いして準



功労者が継続して寄付せられるよう注意を喚起して頂く。

会員1人当たり寄付額が地区目標額より低いクラブに対しては、機会ある毎に米山功労者を増して頂くよう勧める。

## II. 奨学生の援護活動

米山記念奨学会の主旨に沿って、奨学生に対する世話クラブ、ロータリアンの援護活動は順調である。

- (1) 奨学生の余暇を選んでリクリエーション、遠足を勧める。
- (2) 米山月間だけではなく、いつでも奨学生の卓話が出来ることをP.R.し、クラブからの積極的な申込を待つ。
- (3) 奨学生の年齢に関係なく、地区ローターアクトクラブと接触し、行事にも参加してローターアクトを通じて国際理解を深める。
- (4) 在日奨学生終了者の地区学友会結成が軌道に乗りつつあるので、これを助長するため、元奨学生及び関係ロータリアンと共に親睦会を催す。

## III. 次年度米山奨学生の応募

地区米山奨学生は、前年度末現在26名であり、内13名は本年4月以降の新規学生である。地区割当の本年度新規学生の13名に対し、約3倍の応募があった。年々応募者が増加しているが、更に各大学にP.R.して応募者の増加に努める。

## IV. 米山事業のP.R.

- (1) I.G.F.等の場で地区米山奨学委員が手わけして、寄付金へのお礼と、活動への参加を勧めるスピーチをする。
- (2) 米山月間を主体として、なるべく多くのクラブで地区米山役員の卓話を持つようにする。



## 国際交流委員会

委員長	山田重迪(大阪梅田)
委員	宮田宏章(大阪北)
同	嘉納尚(大阪西)
同	野村浩司(大阪港)
同	荻野良雄(大阪梅田)

- (1) 1985～86年度の当委員会は従来の国際大会行委員会を包含することとなった。
- (2) 1985～86年度の国際大会は1986年6月1日～4日の間米国ネバダ州ラスベガスで開催予定であるが、出来る限り多数当地区よりの参加を各クラブに要請する。
- (3) ラスベガス行の地区としてのモデル・プラン(旅程)を作成し、ガバナー月信に掲載すると共に各クラブに通知する。
- (4) マッチド・クラブ制は本年度よりなくなったが、昨年度より「ロータリー-友情交換」制が取り入れられている。これに参加するか否かは各クラブの意向を確かめてから決定したい。
- (5) 「ロータリー-友情交換」について、各クラブに説明すると共にガバナー月信にその概要を掲げる。
- (6) シスター・クラブの現況を各クラブに調査表を出し把握する。

～MEMO～

8/23 委員会



## ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 戸田 孝(八尾)

## 財団増進委員会

委員長 山田和義(大阪うつば)

委員 大社照史(大阪淀川)

同 杵田圭児(大阪北)

同 阪口勇(大阪柏原)

同 村司悠峰(豊中)

### I. 活動方針

- (1) 戸田担当P.G.を中心に、従来の政策を踏襲し、余り逸脱せぬよう運営する。
- (2) 人間関係を大切に、関係先との連絡を密にする。
- (3) 本年も一人当たり平均寄付額を70ドル以上と設定するが、前年度以上を期す。

### II. 活動計画

- (1) R.I.に正式登録された成績を検討し、各クラブ間の格差是正に努力する。又、ガバナー月信に適時その成績を発表する。
- (2) アンケートにより、各クラブの実情把握と共に、財団に対する認識を喚起する。
- (3) 9月~~20~~<sup>2</sup>日にクラブ財団委員長会議を開催し、地区に於ける財団の円滑なる活動の増進を計る。
- (4) 11月のロータリー財団月間には、各クラブに独自の活動を依頼し、卓話の依頼があれば財団学友委員会などと連絡の上、対処する。
- (5) I.G.F.には各委員分担出席し、財団に就いての各種情報を提供し、財団の増進に努力する。

### Ⅲ. I. G. F. 担当予定

第1組	10月19日(村司)	第2組	11月9日(夫社) <sup>山田</sup>
第3組	11月16日(山田) <sup>大社</sup>	第4組	12月14日(阪口)
第5組	1月18日(杵田)	第6組	2月1日(大社)
第7組	2月15日(山田)	第8組	3月1日(阪口)

### 財団奨学金委員会

派遣と貸入れとは別問題

委員長	白羽 弥右衛門(大阪阿倍野)
委員	菅田 栄 治(大阪)
同	名張 隆 政(吹田)
同	内藤 和 夫(千里)
同	高士 修(守口)
同	林 栄 一(箕面中央)
同	大川 進一郎(大東)
同	西村 広 一(東大阪)

第266地区においては歴代のP.G.はじめ、ロータリー財団担当部門関係者のご指導とご努力のおかげで、地区内会員の財団に対するご関心がきわめて高く、逐年多額の基金が拠出された結果、本年度においては、計17人(これまでは8人)の奨学生を海外に送り出すことができる見込である。

かねがね指摘されていることであるが、1人の奨学生を海外に派遣すれば、1人のロータリアンが50回海外に出張して、挙げることのできる効果を国際交流の上にもたらすことができる。

- (1) 今年度においては、地区内各R.C.では少なくとも1人以上の奨学生候補者をご推薦願いたい。
- (2) 前年度においては短期大学卒業者がはじめて海外大学の大学課程奨学生に採用された



事実に鑑み、今期は各種短大の中からもすぐれた奨学生候補者を発掘ご推薦頂きたい。  
加えて心身障害者の教師、ジャーナリズム、職業研修の課程を志望する候補者にも格別  
ご留意願いたい。

- (3) 奨学金候補者の選考期日については今年度大変更が行われたので、当地区としては下  
記のごとく各段階における期日を決定している。

5月1日(水) 1986～87年度財団奨学生募集開始(ポスター、申請書一式、パンフ  
レット等配布)

7月27日(土) 地区内各R.C.のロータリー-財団委員長、国際奉仕委員長会議を開催、  
とくに奨学生候補者の提出すべき申請書作製につき詳細な説明を行う。(場所:葉業年  
金会館、時刻:13:00～16:30)

9月17日(火) 各R.C.における申請書受付〆切。

10月5日(土) ガバナー事務所における申請書受付〆切。

10月26日(土) 第1次選考実施(場所:天王寺都ホテル、時刻:10:00～16:  
00) 但し、第264地区候補者第1次選考と場所、期日をともにすることは在来とかわ  
らない。

11月2日(土) 第2次選考実施(場所:大阪駅前第3ビル16階 大阪市立大学文  
化交流センター)。

11月18日(月)～22日(金) 申請書類をガバナーからエバンストン財団本部へ  
逐次発送。

12月1日(日) ロータリー-財団本部に於ける申請書類必着〆切期日(手続要覧所載  
期日厳守)。

なお1986年2月以降奨学金受領者の最終決定発表、第266地区財団学友委員会  
のご援助を得て受領者に対するオリエンテーション開始、6月以降8月末日までに受領者  
はそれぞれ就学地へ渡航の見込。

- (4) 大学教員のための補助金受領者の選考も奨学金委員会において行うようP.G.から要  
請されている。しかし当地区での今期内選考には無理があるように思われるので、今期  
は、すでに申請書を提出したのものに対してのみ選考を行うが、本年度内はこの新制度の  
周知をはかることとし、次年度大々的に受領者をあげたい考である。



## 研究グループ交換委員会

委員長 木川 稔(摂津)

委員 山中文和(大阪南)

同 村上 実(池田)

同 辻中 昭一(大阪梅田)

同 小谷 泰造(大阪北)

同 武智 義加(茨木)

同 東 平介(寝屋川)

同 坂東 宏(吹田)

(5名)

今年度当委員会の活動計画は、前半は受入に、後半は第144地区との派遣又は受入れに備えたい。

(1) 受入れ地区 第111地区(英国)南イングランド(Hampshire, South-Wiltshire, East-Dorset 並びに Channel 群島)

(2) 受入れ期間 AM7:20 下段空洗着  
15  
昭和60年9月16日より同年10月20日迄  
同21日帰国

(3) 受入れ団員のプロフィール

1) 団長 ~~ロイ・ロムズイ~~ フリテン・バンディ BRIAN BUNDY

年令 43才 51才

職業 ~~建築技師~~  
~~グラフィック・デザイナー~~ 兼写真家

妻 ジーン(子供なし) マーガレット(子供5人)

趣味 ~~劇観賞、ジョギング、スキー、ヨット~~

2) 団員 ナイジェル・ノースコット

年令 33才

職業 サザンプトン大学看護学講師

独身

趣味 音楽、劇観賞、スカッシュ、マラソン



3) 団員 ロド・ハヴィランド・スミス

年令 33才

職業 大学微生物学主任講師

妻 クリスティナ(子供なし)

趣味 写真、あらゆるスポーツ

4) 団員 スティーヴ・ウィリアム

年令 32才

職業 新聞社会計士

妻 マーガレット(子供1人)

趣味 ラグビー、ゴルフ、読書

5) 団員 オウズワルド・ホスキンス

年令 31才

職業 巡査部長

独身

趣味 歌唱、音楽鑑賞、ウクレレ及びチューバ演奏

6) 団員 サイモン・ブリス

年令 30才

職業 エレクトロニクス技師

妻 リン(子供2人)

趣味 ギター演奏、写真

7) 補欠

a. ポール・チェムバレン

年令 32才

職業 大学教授(心理学者)

b. ポール・カワード

年令 28才

職業 獣医

(4) 受入れ態勢

地区内 59 クラブを下記の通り、5 ブロックに分割、各ブロックより実行委員長、副  
実行委員長、委員を選出。

• 第1ブロック

池田、池田くれは、箕面、箕面中央、豊中、豊中南、豊中—大阪国際空港 7 R.C.

(A) 受入れ期間

9月16日より同22日迄

(B) 実行委員長 舟橋良治(池田)

副実行委員長 子安義彦(池田)

委員 12名

• 第2ブロック

茨木、茨木東、千里、摂津、吹田、吹田西、高槻、高槻東、大東、枚方、枚方—くれ  
は、門真、交野、守口、寝屋川、四條畷 16 R.C.

(A) 受入れ期間

9月23日より同29日迄

(B) 実行委員長 西田陽一(茨木)

副実行委員長 高岡国土(摂津)

• 第3ブロック

八尾、八尾東、八尾中、東大阪、東大阪東、東大阪中、東大阪西、大阪柏原

8 R.C.

(A) 受入れ期間

9月30日より10月6日迄

(B) 実行委員長 増田 鼎(八尾)

副実行委員長 橋本雄司(八尾)

委員 14名

• 第4ブロック

大阪、大阪駅、大阪北、大阪大手前、大阪西北、大阪天満橋、大阪梅田、大阪東、  
大阪東淀、大阪城東、大阪北淀、大阪大淀、大阪城北、大阪鶴見、大阪淀川

15 R.C.



(A) 受入れ期間

10月7日より同13日迄

(B) 実行委員長 中塚良太郎 (大阪北)

副実行委員長 北川行雄 (大阪北)

委員 28名

• 第5ブロック

大阪南、大阪港、大阪難波、大阪なにわ、大阪西、大阪西南、大阪心斎橋、大阪うつば、大阪阿倍野、大阪阪南、大阪平野、大阪城南、大阪南西、大阪住之江、大阪住吉 15 R.C.

(A) 受入れ期間

10月14日より同20日迄

(B) 実行委員長 酒井 宏 (大阪南)

副実行委員長 島岡 司 (大阪南)

委員 14名

去る4月15日(日)、ホテル阪神会議室に於いて、戸田担当パスト・ガバナー並びに正副実行委員長出席の上、第一回各ブロック別受入れプログラムを、各実行委員長より発表して頂き、全員にて修正、討議し、次回迄に完全なプログラムの作成を約して解散。

5月15日(水)、同会議室にて第二回正副実行委員長会議を開催。中村ガバナー、戸田担当パスト・ガバナー、坂東ガバナー・ノミネー、研究グループ交換委員会委員出席、中村ガバナー、戸田担当パスト・ガバナーのご挨拶の後、各実行委員長より、最終のプログラムが発表される。各ブロックの実行委員長、副委員長並びに委員方のご尽力により、立派なプログラムが作成されました。関係各ロータリアンに厚くお礼申し上げる次第です。いずれ7月上旬には小冊子が出来上る予定です。

(5) 第144地区とのG.S.E. チーム交換については、現在折衝中。



## 財 団 学 友 委 員 会

委員長	田 中 穰 二(大阪西南)
委員	黒 田 巖 之(大阪淀川)
同	山 村 幸 明(吹・田西)
同	湯 川 泰 秀(大 阪)
同	中 田 康 仁(大阪南)

9/3

本年度は財団奨学生へのオリエンテーションを除き、第264地区委員会と合同で下記の諸計画を行う。

### (1) 財団学友名簿の発行

本年度の学友名簿は従来の形式に基づいて作成し9月に発行する。但し、1986～87年度財団奨学生に就いては選考時期変更のため次年度名簿に記載するものとする。

### (2) 財団奨学生へのオリエンテーション

本年度より財団奨学生へのオリエンテーションは合同ではなく単独で行う。開催時期はR.I.の正式承認後(2月)に行うのが原則であるが、奨学生選考時期の変更にともない、留学時までの期間が短縮された一方、留学準備に可成の時間を要するので、昨年度と同様当地区が候補者として決定(11月)後、予備オリエンテーションとして開催する。

### (3) 財団学友懇談会の開催

本年度も企画運営をパストサービス・クラブに依頼して11月頃に開催し、新旧学友、財団関係者との親交を深める。

### (4) ロータリー-財団月間等の学友卓話幹旋

ロータリー-財団月間には各クラブからの学友卓話の要望に積極的にこたえと共に、設立間もないクラブの要請には学友委員の派遣も考慮する。

### (5) 顧問ロータリアンとの連絡

奨学生正式決定後、直ちに奨学生との緊密な接触が出来るよう、顧問ロータリアンの委嘱をガバナーにお願いすると共に、学友委員会は会合への出席依頼、文書連絡等を通じて、相互連絡を計る。



(6) 学友パストサービス・クラブの助成

学友パストサービス・クラブ(略称PSC)は役員の転勤などにより新しい役員構成を作る必要があるので、これに協力すると共に、オリエンテーション、学友懇談会などへの積極的な協力を求める。

～MEMO～

(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田
(大東)	中	田	中	田

## 拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 平 井 常次郎 (大阪南)

## 拡 大 委 員 会

大阪城南 スポルター	40人	委 員 長	中 村 健 (箕面中央)
		拡大カウンセラー	
豊中 (カクキヨ)	豊中東R.C.	拡大カウンセラー	小 林 林之助 (大阪北)
	30人	拡大カウンセラー	西 謚 (高 槻)
大阪平野			
高槻		委 員	藤 本 哲 雄 (寝屋川)
阪南 (天王寺)		同	小 山 隆 三 (大阪阪南)
寝屋川		同	播 磨 昌 幸 (大阪平野)
		同	北 野 清 (大阪城南)
		同	藤 木 厚 (豊 中)

前年度は期初に大阪鶴見 R.C. の創立をみ、年度後半に東大阪西、大阪北淀の 2 R.C. が創立されたが、本年度も引続いてクラブの拡大に努力を傾けている。

- (1) 先ず大阪市域東南部の東成、生野両区は大阪城南 R.C. の区域限界であるが、近時発展の著しいこの区域に更に 1 クラブの新設を計画し、同 R.C. にスポンサー・クラブの引受け方を懇請したところ快諾を得て、準備に着手した。

すでにクラブは年度後半にアディショナル・クラブ設立調査特別委員会を発足せしめ、直ちに入会候補者 60 名をリスト・アップして選考に入っている。

- (2) 豊中市域には現在 3 クラブが鼎立しているが、最近人口の稠密が加速している市東部の千里地域に更に 1 クラブ設立の可能性を、ここ数年模索して来た。既設 3 クラブの中には新クラブへの会員移籍などの配慮から、一時時期尚早との向きもあったが、ようやく 3 クラブの合意を得られる機運となった。即ち、前年度末近く、各クラブ理事会は夫それぞれに、新クラブ設立協力を決議し、特に豊中 R.C. が中心となって準備行動に移ることが確認された。





## 地 区 財 務 委 員 会

委 員 長 前 島 淳 (大阪西)

委員・会計 中 野 博 (大阪西)

委 員 吉 村 清 三 (東大阪)

同 金 子 義 高 (吹 田)

- (1) 今年度は、従来の「地区資金委員会」と「地区会計」を合体して「地区財務委員会」と改称し、一体的運営を計ることになりました。次頁記載の予算の編成は主として委員長が担当し、今後の予算の執行は主として会計が担当することになっています。
- (2) 地区資金の人頭分担金が前年度 15,000 円と 2,000 円増額された結果、地区分割後両三年苦心された地区財政に或る程度の余裕が生じ、予算の編成にも無理をする必要がなくなりました。
- (3) しかしながら、今年度予算の編成に当り、中西ガバナー・ノミニー(当時)は極めてシビアな態度で臨まれ、編成作業者に先ず前々年度実績の分析並びに進行中の前年度予算の実情聴取を命ぜられ、その検討をもとに自らの運営方針にもとづく諸要因を加味して具体的な指示をされました。
- (4) 原案中、「委員会活動費」については、3月15日開催の次年度地区委員長合同会議に提出して検討願(一部保留)了承を得、一部保留分はさらに4月20日開催の地区新旧合同委員長会議で修正報告いたしました。また「事務所経費・その他」については、地区諮問委員会に諮問した上で、規定に従い4週間以上前に各ロータリー・クラブ次期会長あてに本件「予算案」を送付し、5月18日開催の地区協議会(会長部門)で正式に承認をみた次第であります。
- (5) “予算即決算”という理想どおりには参りませんでしょうが、第266地区ロータリアン全員並びに関係各位のご理解を得て、これが合理的且つ実効的な整然とした実行を切にお願いする次第です。



1985~1986年度 国際ロータリー第266地区

収 支 予 算 書

作成月日 昭和60年4月2日

承認月日 昭和60年5月18日

収入の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
前 年 度 繰 越 金	17,000	(*1) 7,350
R. I. 交 付 金	1,300	1,300
地 区 資 金 (15,000円×4,290人)	64,350	(*2) 58,500
雑 収 入	1,000	1,000
合 計	83,650	68,150

(\*1) 14,932円(実績)

(\*2) 15,000円×3,900人

ガバナー 中西正二  
 財務委員長 前島淳  
 会 計 中野博

支出の部

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	
委 員 会 活 動 費	17,950	14,200	
クラブ奉仕部門	地区指名委員会	120	120
	意義ある業績賞委員会	30	30
	会員増強委員会	150	150
	広報・雑誌委員会	250	200
職業奉仕部門	規定情報委員会	200	80
	職業奉仕委員会	100	100
社会奉仕部門	社会奉仕委員会	400	100
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	1,800	1,800
	インターアクト委員会	2,600	2,600
	ローターアクト委員会	3,500	3,500
国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	150	150
	青少年交換委員会	350	350
	米山契学委員会	500	350
	国際交流委員会	250	100
拡大部門	地区拡大委員会	150	150
	財団奨学金委員会	1,500	600
ロータリー財団部門	研究グループ交換委員会	4,800	2,500
	財団増進委員会	250	250
	財団学友委員会	350	350
	委員会活動予備費	500	250
会 議 費	6,650	5,500	
ガバナー事務所経費内訳	地区大会補助	300	300
	地区協議会補助	300	300
	地区委員会	2,500	1,800
	I. G. F.	0	120
	地区大会交通会合費	0	120
	ガバナー打合せ会議費	1,000	1,000
	R.I.会長代理記念品代	150	150
	同上歓迎費	350	350
	直前ガバナー記念品代	250	250
	G.N.国際会議参加補助	800	500
	予 備 費	1,000	610
	ガバナー連絡会議 200円×4,290人	858	750
	ローター文庫協力費 200円×4,290人	858	780
地区大会分担金 3,500円×4,290人	15,015	13,650	
ガバナー月信印刷費	7,500	6,500	
製版・印刷・送料・ホルダー	予 備 費	7,000	6,000
	予 備 費	500	500
ガバナー事務所経費	19,990	16,340	
事務所経費	予 備 費	19,490	15,840
	予 備 費	500	500
予 備 費	1,000	1,000	
合 計	69,821	58,720	
次 年 度 繰 越 金	13,829	9,430	

	60年2月末	59年2月末
クラブ数	59	54
会員員	4,162	3,871

(単位：千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額
借 室 料	2,800	2,500
光 熱 費	700	
給 料	8,000	7,500
ガバナー交通会合費	1,190	1,040
印 刷 費	1,000	800
交 通 通 信 費	2,500	1,700
文 献 費	150	150
事務用消耗品費	1,500	1,500
什器備品費	150	150
雑 費	1,500	500
予 備 費	500	500
合 計	19,990	16,340





# 地 区 大 会

地区大会幹事 廣 澤 敏 男 (大阪西)

(1) 昨年7月中西ガバナー・ノミニー(当時)から大綱についての考え方および大会組織案を示していただいて以来、大会実行委員会の各委員長が定期的に会合をもち、また例会時のテーブル配列も各委員会毎に組み替えるなど連繋を密にして、準備を進めている。

(2) 地区年次大会の日程および開催場所は、

4月 9日(水) 記念ゴルフ大会 茨木C.C.

4月11日(金) 会長幹事懇談会

職業別協議会 新しい試み

会長代理歓迎晩餐会

部会のフォーラム

1 医事

2 建設住宅

3 製造業

4 ワークス

5 専攻会

以上 ロイヤルホテル

4月12日(土) 本会議 万国博ホール

に、一応決まった。

(3) ガバナーの指示で、本会議を一日に圧縮し、且つその会場を万国博ホールとしているので、例年と異なったプランを樹てねばならないため、各委員は他地区の大会に参加し、また5月には時間をかけて現地を視察し、細部の構想をねっている現況である。

(4) 11日・12日の行事の概略予定は、いずれガバナー月信を以てお知らせすることになっているが、迎賓館、茶室等を活用して、ご婦人に興味をもって迎えられる行事を盛りこんで行きたいと考えている。

また総予算の想定、会場への交通、会場内移動のための「足」の問題、雨天対策等々今後十分に検討すべき問題が多く残されている。

(5) 参加の各位に満足していただける大会にしたいと、ホスト・クラブは総力をあげて準備を進めつつあり、何とぞご夫人ご同伴の上多数のご参加をお願いする次第である。

ロバート・K.カアワ RI会長代理





## 「手に手つないで」

作詞・東京RC 矢野 一郎  
作曲

手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 一つ心に

おお ロータリアン おお ロータリアン

手に手つないで つくる友の輪

輪に輪つないで つくる友垣

手に手 輪に輪 ひろがれまわれ 世界と共に

おお ロータリアン おお ロータリアン

